

三浦 義光 議員 政風会

自転車保険加入を義務化に

問

(1) 高齢者の交通事故が増える中には、認知症やその疑いがある人が含まれる事例が多発する中、認知症と診断された高齢者に対して、警察との連携した動きは。

(2) 兵庫県が10月に全国初の自転車保険の加入を義務づける条例を施行した。本市も条例化を検討していただきたいがどうか。

事故防止に関する
注意喚起を推進する

答 危機管理課長

(1) 警察による交通安全講話や秋に行われる海部南部高齢者交通安全総決起大会などにより交通安全意識の高揚を図るとともに、認知症に対する運転免許の相談窓口が警察署にあるので、警察と連携をとって対応していきたい。

問

(2) 交通安全教室や防災の出前講座の際に、事故防止に関する注意喚起やヘルメットの着用の推進、自転車保険への加入の推進を行っている。

自転車の安全な利用に関する条例については、引き続き調査・研究をしていく。



▲T S マーク

外国人への市役所窓口サービスの充実を

問

(1) 外国人への窓口行政サービス、特に1階の市民課を含めた民生部門の通訳の対応は。

(2) 市内在住外国人や訪日外国人旅行者に向けた通訳

クラウドサービス導入の検討はされているか。

(3) 本市の補助犬の受け入れ状況は。

(4) 本市では、毎週水曜日

午前9時から正午まで市役所に手話通訳者を設置しているが、運営状況は。

英語による会話が可能な職員より対応している

答 民生部長

(1) 市民課の窓口を例とすると、会社の担当者や通訳の友人と来庁する方が多い。

英語圏の方には、英語を話すことができる職員に協力を依頼して対応している。

(2) 旅行者など短期的に滞在する外国の方がふえた場合には必要とは考えるが、当分は現在の対応としたい。

答 福祉課長

(3) 身体障害者補助犬法において身体障がい者補助犬の同伴を拒んではならないとなっており、当市でも適切に対応している。



▲ほじょ犬マーク

(4) 毎月、「広報やとみ」最終ページのカレンダーのところに、この設置について掲載しているが、26年度は22件の利用があった。

少子化対策に
婚活支援を

問

(1) 市社会福祉協議会による初めての婚活パーティーが開催された。改めて市長に、少子化対策支援、婚活・結婚相談事業に対する考えを尋ねる。

(2) 次回開催の婚活パーティーの改善点は。

(3) 市ホームページ上で、結婚相談の案内として社会福祉協議会と共同事業にて、結婚を考えている満20歳以上の独身男女を対象に相談を行っているところがあるが、相

談方法、相談件数は。

(4) 民間が主催している婚活事業への支援はこれからも行っていくのか。

営利目的でない場合は積極的に協力していく

答 市長

(1) 男女の引き合わせまではやっているが、成婚までお世話をするものではない。

答 秘書企画課長

(2) おおむねよいという結果を頂いたが、参加者全員とお話しする時間を多くとってほしいという意見があったので、次回開催時には考慮していただくようお願いする。

(3) 毎月第2水曜日午後1時から午後4時まで、相談員により総合福祉センターで行っている。

相談件数は、18件。

(4) 民間他団体、社会福祉協議会、JAなどの支援については、今後も営利目的ではない場合は、積極的に協力していきたい。